

国士舘大学理工学部建築学系主催講演会

建築家 〈異空建築〉 代表  
Ryu Choon Soo  
〈柳春秀〉



日時：2014.10.13 16:30 -18:00

会場：34号館3階 34A310 教室

この度、韓国より建築家 Ryu Choon Soo 先生をお迎えし講演会を開催致します。Ryu 先生は韓国建築界で最も韓国的な建築家評価されています。2011年には大韓民国有功勳章を受賞されました。

略歴：

1970 漢陽大学卒業

1985 ソウル国立大学修了

1974-86 Space Group ディレクター

1986 異空建築 (Beyond Space Group) 設立

1988「Quaternario88」国際賞金賞

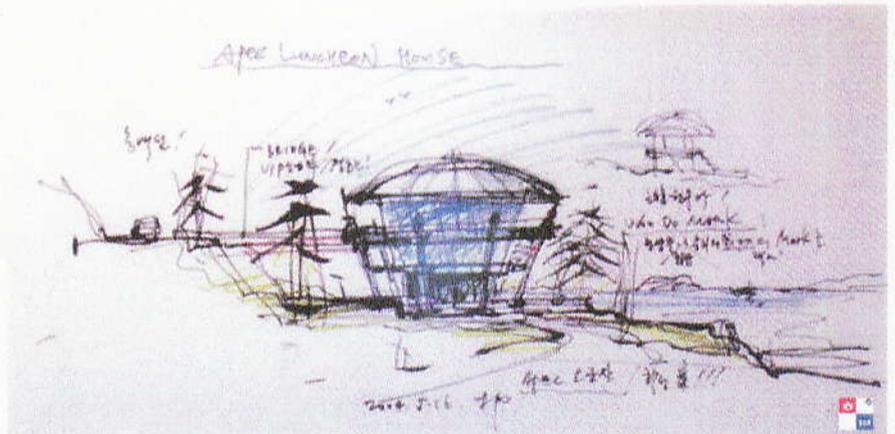
2000 エジンバラ候奨励賞受賞

2000 シェフィールド大学客員教授

2007 国際オリンピック委員会 IAKS 賞受賞

2008 アメリカ建築家協会名誉フェロー

2011 大韓民国有功勳章授与



建築家リュ・チュンスはよく最も韓国的な建築家と評価される。このように評価される背景には彼の住宅作品から見えてくる土俗的な材料の使用と空間構成、形態美などが挙げられるが、より一層根本的なところでは彼の建築が彼の成長背景と宗教で形成された、韓国的情緒と東洋的思考に根付いているからだと言えるだろう。

1946年慶北ボンファで生まれた彼は熱心な仏教信者として、田舎で育った背景と郷土的な感性を土台にした韓国的建築の表現に変わらぬ関心を持ち続けた。彼の建築的師匠だった故 金スグンが伝統の現代化や韓国性の具現のために刻苦の努力を傾けたのがヨコ博物館の優色論争以後だったことと比較してみると、リュ・チュンスにとって伝統というものとは学習を通して得ることができる対象ではなく自分が生まれて成長し現在の彼に至らしめた現在進行形の人生の背景として意味を担っている。

